

第 11 回シンポジウムの開催報告 (5 月 26 日開催)

研究普及委員会 委員長 中鉢直宏

『イノベーションの進展と情報システム』をテーマに情報システム学会第 11 回シンポジウムが青山学院大学 青山キャンパスで開催されました。

特別講演として、同志社大学 総合政策科学研究科教授の中田喜文氏にご登壇いただきました。5 カ国（日本、アメリカ、フランス、ドイツ、中国）の事例分析に基づき、情報システム技術者をバード、ソフトウェアに分け、特にソフトウェア技術者を中心に、勤務時間、労働裁量性と WLB の関係、人的資源管理や労働管理の現状比較などから日本の情報システム技術者の特徴と職場の課題に関してご講演いただきました。

第 2 回浦昭二記念賞者 2 名による受賞講演を行いました。「日本の SE 能力は、なぜ低いのか」では、「情報資源利用」の高度化の必要性とそのプロセスを紹介するとともに、情報資源の高度利用には、親学問の体系が存在しない故にこの分野の人材育成が難しく、それゆえ「再起概念」の重要性について提言されました。

「情報システム開発の繰り返される失敗」では、知識資源管理モデルを新設し、知識資源管理アプローチの方法手順、新しい組織開発方法論の紹介と、4 つの方法論からなる統合的活用法を示し、その手法について 4 つの会社実践例が報告されました。

シンポジウム終了後、場所を移しての情報交換会では、講演者と参加者との間で有意義な議論が展開され、盛会のうちに幕を閉じました。